

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 51
発行日 平成31年2月2日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:23種148点
鳥類:24種94点
爬虫類:10種54点
(平成31年1月末日現在)

パンダのやぐら



数年前に木で作ったレッサーパンダ舎のやぐらが少しずつ弱ってきて、一本枝が落ち、また一本落ち…と壊れてきたため、また新しく作り直しました。

台風で折れた園内のケヤキを材料に、ボルトなどを使って手作りで組み上げていき、3日間ほどかけて二代目やぐらが完成しました。

パンダたちは警戒するかな?とっていましたが、あまり動じないおっとりしたアン、慎重でマイペースなファファは割とすぐ登りました。警戒心の一番強いケイコも登るようになったものの、彼女はそれまでも展示場に生えた本物のケヤキの上が定位置だったため、そちらのほうが落ち着くようでそっちにいることが多いです。



第19回 春の動物園まつりのお知らせ

春の動物園まつりのお知らせです。

- ★日時：平成31年3月24日(日曜日)午前10時～午後3時
 - ★キーパズガイド、バックヤードツアー(要整理券)、シマウマ餌やり体験(要整理券)、動物ふれあいコーナー、コンサートコーナー、野鳥クイズコーナー、動物アートコーナーなど
 - ★荒天中止。また、天候や動物の体調などによって内容が変更になる場合があります。
- 詳しくはホームページ、市政だよりなどもご覧ください。
お待ちしております！



*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。



3月21日～5月12日の土・日・祝日および4月1日に、園内にキッチンカーが出店し、軽食等を販売する「ゆめみ”車”マルシェ」を開催します。お楽しみに🌸

★ピックアップ動物★

フサオマキザル

哺乳綱 サル目 オマキザル科

南米の霊長類とも呼ばれるほど頭がよく、同じ群れの中で行動をまねて共有することもあることが知られています。

7月に仲間入りしたみマキオは♀ワカメとお見合いののち同居を開始したものの、お互いそんなに触れ合うわけでもなく、距離を保っていますが、冬になって寒さのためか、お互い近くにいることも多くなってきました。

マキオは夢見の環境に慣れるに従い、色々といたずらが多くなってきました。老朽化したシャッターを壊し、南京錠をサル舎の外に投げ、つい先日は重い排水マスの蓋を開け、漬物石を底に投げつけてしまいました。投げ入れた先が深くて人間では取れないね…と話していた矢先、自力でまたその石を取り出してしまう怪力ぶりを見せた時は、その能力の高さに恐れも抱きました。

そんなマキオに、もし子どもが生まれたら、これらのいたずらも教えるかもしれません。怖いような、見たいような…。ともかく、距離の縮まった2頭の繁殖がうまくいくのを、今は楽しみに見守ろうと思います。

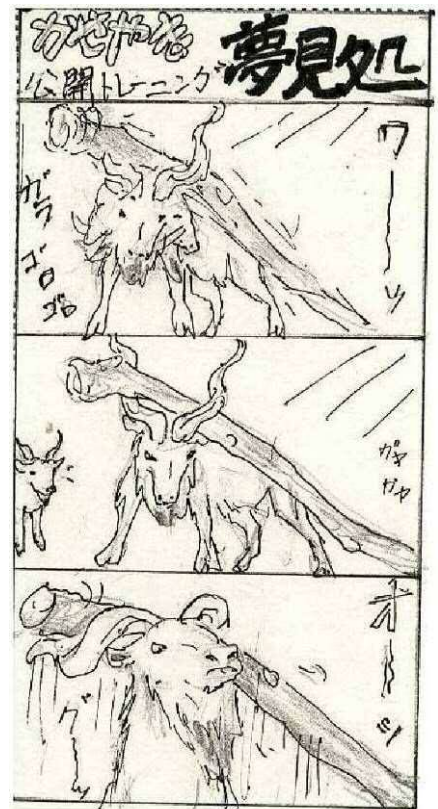


獣医の日記

アカリスのカンタロウが入院してしばらく経ちます。若くて元気なうちは良かったのですが、だんだん高齢になり、足腰が弱ってしまい、展示スペースで上り下りをするのがきつくなっただけではなく、高いところから落ちてけがをしかねない状態になったため、病院に収容しました。

年を取ることは病気ではありませんが、そのために出てきたつらい症状や不便是取ってあげられる場合もあります。現在カンタロウは、あまり高さのないケージに、様子が確認しやすい屋根なし巣箱と細かく切ったわらの巣材の入った、カンタロウカスタマイズした部屋で過ごしています。巣箱にこもっていることが多く、あまり動かないので、毎朝病院に入るたび、ケージを覗いて様子を確認するのが日課です。以前、関節炎を患ったヤギにグルコサミンのサプリを与えたところ、良い効果が見られたことがあったので、カンタロウにも与えています。今のところ大きな変化はなく、ただ以前より巣箱から出ている姿が見られるようになったかな？という気はしています。

動物園の病院には老いた動物が穏やかに過ごす場所としての役割もあります。病院に入院動物は少ないに越したことはないのですが、病院での作業中の合間にチラリとでも、彼らがここで穏やかに過ごしているのを感じると、ちょっとほっとするのも本音です。



★動物たちの主な移動(平成30年11月1日～平成31年1月31日)★

ミーアキャット♀1死亡、アカオヒメシャクケイ♀1死亡、ファンポルトペンギン♂1死亡、マーコール♀1死亡、♂1死亡、ブラウンキツネザル♀1死亡、テンジクネズミ10繁殖